

【第6次】

長南町定員適正化計画書 (令和6年度～令和10年度)

長 南 町

令和6年4月策定

I はじめに

長南町では、平成9年を初年度とする【第1次】長南町定員適正化計画書を皮切りに、令和元年7月策定（令和元年7月改訂）の【第5次】長南町定員適正化計画書に基づき、定員の適正化に取り組んできました。

【第1次】計画策定当初の平成9年に171名であった職員数は、【第5次】計画の最終年となる令和5年度当初に118名となり、当初比53人の削減（△31%）を図り、【第5次】計画の目標数値を達成したところです。

このような中、急速に進む少子高齢化や住民ニーズの多様化、地方分権による権限移譲事務の増加に加え、社会保障関連事務、マイナンバー関連、新型ウイルス対策等、社会情勢の著しい変化への対応や、それらに伴う業務量の増加に対して、これまで以上に的確な対応が求められ、更なる事務事業の見直しや財源の有効活用が必要となっています。

また、地方公務員の定年引上げに伴い、定年引上げ期間中の令和5年度から令和14年度までの間は、定年退職者が2年に一度しか生じないことなども考慮し、効率的な組織体制の構築や適正な職員数の確保が求められています。

この度、【第6次】長南町定員適正化計画の策定に当たり、現在の事務事業量と今後の事業計画及び行政需要、退職者数の推移、暫定再任用職員制度の活用を含め、充実した行政サービスの提供とそのサービスが維持できるよう、定員適正化計画を策定するものです。

Ⅱ 職員数の現状

○職員数の推移

【第1次】 定員適正化計画期間

年度	H9	H10	H11	H12	H13
職員数（実績）	171	167	176	171	171

【第2次】 定員適正化計画期間

年度	H14	H15	H16	H17	H18
職員数（実績）	172	171	168	166	162

【第3次】 定員適正化計画期間

年度	H18	H19	H20	H21	H22
職員数（実績）	162	160	151	145	141

【第4次】 定員適正化計画期間

年度	H21	H22	H23	H24	H25
計画職員数	145	144	140	140	133
職員数（実績）	145	141	133	133	131

年度	H26	H27	H28	H29	H30
計画職員数	132	131	131	131	131
職員数（実績）	131	129	126	128	123

【第5次】 定員適正化計画期間

年度	R1	R2	R3	R4	R5
計画職員数	131	131	130	130	130
職員数（実績）	123	121	124	118	118

Ⅲ 定員適正化目標

最少の経費で最大の効果をあげる行政システムの確立と多様な住民ニーズに対応できる体制づくりのため、常に組織体制と定員の見直しを行います。

① 計画期間

令和6年度から令和10年度まで

② 定員適正化計画の目標達成、維持のための手法

- ア) 事務事業の見直し、再編・整理・統合に努めます。
- イ) 事務の効率化に必要なシステムを導入します。
- ウ) 暫定再任用職員、会計年度任用職員などの活用により、効率的な職員配置と雇用機会の増加に努めます。

【第6次】定員適正化計画

年度	R06	R07	R08	R09	R10
計画職員数	130	130	130	130	130

(内訳)

年度	R06		R07		R08		R09		R10	
	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末
退職予定数	正規	6(4)		5(4)		5(5)		7(4)		8(6)
	暫定再任用(短時間)	3		2		2		1		0
採用予定数	正規	11(4)		7(5)		7(5)		6(4)		9(6)
	暫定再任用(短時間)	3		2		2		1		0
計画職員数	130		130		130		130		130	
実績職員数	123		124		126		127		129	
計画数との差	▲7		▲6		▲4		▲3		▲1	

()内はフルタイム

《参考【第5次】定員適正化計画》

年度	R01		R02		R03		R04		R05	
	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末	当初	年度末
退職者数		13		6		10		8		2
採用予定数	正規	9(3)		12(3)		14(4)		6(3)		12(6)
	暫定再任用(短時間)	2		6		4		2		1
計画職員数	131		131		130		130		130	
実績職員数(定員管理値)	123		121		124		118		118	

()内はフルタイム